

新庁舎・(仮称)新福祉会館建設に係る市民説明会(第3回)	日時	平成30年11月10日(土) 15:00~17:03	場所	桜町上水会館 集会室AB
説明者	西岡市長、天野企画財政部長、中谷福祉保健部長、高橋庁舎建設等担当課長、今井公共施設マネジメント推進担当課長、前島福祉会館等担当課長			
事務局	企画政策課 渡辺主査、岡崎主任、小林主任 地域福祉課 山口主査 (受託者)株式会社大建設 北原氏			
参加者数	30人(うち市議会議員3人)			
次第	1 開会 2 新庁舎建設基本計画について 3 (仮称)新福祉会館建設基本計画について 4 新庁舎と(仮称)新福祉会館の整備手法について 5 建設計画(施設配置)について 6 「これまで」と「これから」について 7 質疑応答 8 閉会			
(進行:渡辺主査)				
1 開会 西岡市長による開会挨拶を行った後、説明員の紹介を行った。				
2 新庁舎建設基本計画について				
3 (仮称)新福祉会館建設基本計画について				
4 新庁舎と(仮称)新福祉会館の整備手法について				
5 建設計画(施設配置)について				
6 「これまで」と「これから」について 高橋庁舎建設等担当課長が2、5について、前島福祉会館等担当課長が3、4について説明を行った後、西岡市長が6について説明を行った。				
7 質疑応答				
【市民A】 C-3が(仮称)新福祉会館も早く建つし、清掃関連施設を暫定移設しなくて済むので、一番よい案だと思う。市は、C-3を最優先で進めるということでよいか。 → これまでの経過では4つの施設配置案を示し、Cre-2に最も優位性があると考えてきたが、本日は、追加調査において清掃関連施設を暫定移設せずに成立するC-3を示した。この施設配置のまま建設するわけではないが、清掃関連施設を暫定移設しないと考えている。それに対する意見を伺いたい。 Cre-2は既存の清掃関連施設を暫定的に移設し、リースにより施設を設置し、費用として新庁舎等竣工までで約1億6千万円要する。市議会からは短い期間の間に施設を作って壊すことの可否やリース料等について意見をいただいた。一方、暫定移設を行うことで工事の施工性を高める等それぞれに様々なメリット・デメリットがある。基本設計に入る基本的な考えとして、スライドのP63。C-3は、(仮称)新福祉会館に免震構造を採用しない調査結果を示しているが、基本設計段階において上部構造も含めて構造計算を行った上で判断を行うこととなるが、C-3においても両施設とも免震構造を採用することが望ましいと考えている。				
【市民A】 C-3に大賛成である。				
【市民B】 C-3の場合、(仮称)新福祉会館が先行竣工することとなるが、新庁舎建設工事中で危険はないのか。災害等起きた場合、重機が入っていると思うが、100%安全なのか。動線上避難できるのか。 → (仮称)新福祉会館竣工後、新庁舎建設段階においては、中央線高架下を使用できるようJRと協議中であり、西側と北側の動線を確保したい考えで、工事車両は南西側から出入りする予定であり、(仮称)新福祉会館利用者の動線とは重ならない。安全に配慮して進めたい。				
【市民C(第1回市民Bと同一人物)】 複合化で進めていくことは決定したと認識している。C-3は、複合化案ではない。単体のものを繋げたに過ぎない。接合部分はどうなるのか。複合化のメリットがよく分からず、1フロアを広くできるという設計の自由度がないのではないのか。既存の清掃関連施設を暫定移設させることは普通に考えれば無駄に感じるが、それをしないとまともな複合施設はできない。C-3でも(仮称)新福祉会館を免震とすると、コストメリットはなくなり、				

最終的に清掃関連施設を敷地外移設するための費用も含まれていない。また、第二庁舎の移転も遅れることによる賃借料も生じ、全てを足すと C-3 の方が安くなるか疑問。さらには60台分の駐車場も敷地外に確保が必要であり、その費用も計上されていない。ランニングコストも含めて計算すると C-3 の方が高い。清掃関連施設の再整備も計画どおり進むのか疑問である。小金井市民の誰もが清掃関連施設の再整備が順調に進むとは思っていない。Cre-2として進めてほしい。11月5日の全員協議会の様子を見ても C-3 に賛成する議員は1人もいなかった。議員からの意見を聴いて市長が C-3 をつくったのに、どうして議員はそれに賛成する意見も出さないのか。

→ 複合施設として整備することでスケールメリットを追求し施設規模の縮減を目指すという考えは何度も説明している。庁内で検討し、(仮称)新福祉会館の市民検討委員会でも様々な議論をいただき、市域の西側で事業を展開していた保健センター、子ども家庭支援センター及びファミリー・サポート・センター機能等も加えて市域の中央で進めていくこととした。東町や梶野町地域の方々からは、小さな子を抱えて雨の日、雪の日に通うのは大変という意見をいただいていた。新庁舎・(仮称)新福祉会館機能を同じ敷地内にあることでこれまで以上に利便性が高まるし、サービスの質を高めつつ、また相互の情報共有を図りながら事業を展開していくことが数十年使用する施設として重要であり、市民の方々といいものをつくっていききたい。複合施設の方が利用する市民の方々にとって利便性が高く、建築の仕方は設計者の技術をいただきながら詳細を検討したい。また、耐震構造の在り様も重要な視点と考える。清掃関連施設については、中間処理場機能をまず二枚橋焼却場跡地へ移設し、その後庁舎建設予定地の機能を中間処理場へ移設する。中間処理場の老朽化は顕著であり、再整備計画はしっかり進めていく。Cre-2においても遅れた場合は、清掃関連施設は残ることとなる。清掃関連施設の再整備は市に強く求められているものと認識している。

【市民C (第1回市民Bと同一人物)】 C-3が複合施設案とは思えない。2つの建物を渡り廊下でつないだ程度で複合施設と考えているのか。

→ 基本設計に入る前であり断定的な考えではないが、学校でも校舎を増築している事例は多々ある。また、病院等でも2段階、3段階に分けて工事を行っている事例もある。工事は同時に始まり、(仮称)新福祉会館が先に竣工し、開業する予定である。これは利用者等からの声を反映するものである。本町暫定庁舎跡地に建設する案もあり、当該案では平成31年度竣工を見込んでいたが、新庁舎と(仮称)新福祉会館を市域の中央で同時にサービスを展開した方が、長い目で見たときに市民の利便性が高まると判断し、市民検討委員会の方々にも同様の決定をいただき、今日を迎えている。遅れてしまったことは事実であり、(仮称)新福祉会館の先行竣工は市として大事な考えとして基本設計を進めていきたい。

【市民D (第1回市民Aと同一人物)】 免震とはどういうものか。また、Cre-2の「C」、「re」とはどういう意味か。

→ 免震は、建物の下にゴム等を用いて、地震時の揺れを抑えるものであり、震災後も直ちに活動を再開できる点にメリットがある。耐震や制震は、建物が耐えても仕器が倒れたり、落下する懸念がある。建物の性質、高さ等によっても変わってくるため、基本設計段階において検討の上、判断したい。「C」は複合として便宜的に設けた記号であり、「re」は「rebuild」からとったものである。

【市民E】 市債の発行残高は平成29年度末で約240億であり、公共施設の再整備で35年間で約1,500億円必要と試算されている。そのような中で、この事業を進めて大丈夫か。市がCre-2を示したところで、市議会からは代替案を出してこない。市がC-3を示したらまた、市議会は同じように批判するだけである。前市長の段階から新庁舎は懸案事項であるが、他にもやるべきことはたくさんある。財源がない中で新庁舎・(仮称)新福祉会館をはじめ、他の公共施設も含め、どのように進めていくのか。

→ どの施設配置案でも新庁舎・(仮称)新福祉会館建設には、約90億円が生じ、コスト削減の視点は欠かすことができない。また、市議会からは起債比率が高いとの指摘を受けている。厳しい財政状況の中、今後の社会保障、市民サービスの維持・向上をしながら、公共施設の再編に向き合うのは難しい舵取りとなるが、行財政改革等、また、基金の積増しを行い、起債額を下げている。また、公共施設等を全て更新する場合、総務省の試算方法によると35年間で約1,500億円要するが、長寿命化、統合、民間活力の活用、資産の有効活用等を行いながら問題に向き合っていく考えである。その中で、新庁舎・(仮称)新福祉会館を優先すると決断し、公債費の傾向を見ながら取り組んでいる。

起債残高はピーク時から比べて約95億円減少しており、新庁舎・(仮称)新福祉会館建設事業によって大きな影響がないようコントロールできると考えている。10年間の長期財政見通しを示しており、ホームページ等で御確認いただきたい。新庁舎建設は市民の皆様とつくっていくものであり、皆様のためのものである。今後ともたくさんの意見をいただきながら、基本設計を進めていきたい。

【市民E】 今回C-3を示したところで、市議会議員はまた否定する。なぜ市議会議員は代替案を示さないのか。

→ 市議会からは付帯決議をいただいた上で、予算を議決いただいた。新庁舎・(仮称)新福祉会館を庁舎建設予定地に建てることは市議会にも理解いただいていると考える。しかし、建て方、施設配置、コスト等に様々な意見がある。また、(仮称)新福祉会館建設にも議員間討議を行い、5つの意見をもらった。これは市議会の重い意思と考える。市民・市議会との合意形成を行いながら進めていくことが重要と考える。

【市民F】 今後どのようなスケジュールで基本設計に入っていくのか。

→ Cre-2の施設配置に4つの条件を付しても成立する見通しとなるので、市民説明会を行っている。この後、基本設計に入っていきたい。

【市民G】 現状の新庁舎の面積はどの程度か。また、それぞれの案で市民1人当たりの負担はどの程度か。今後の人口推計と将来の市民1人当たりの負担はどの程度か。

→ 本庁舎約2,800㎡、西庁舎約500㎡、本町暫定庁舎約500㎡、第二庁舎約6,000㎡、他に災害対策用資機材置場、文書倉庫合わせて約10,300㎡となる。

平成72年までの人口ビジョンを示しており、人口10万人を下回る予想となっているが、人口減少を抑える政策を行っている。市民1人当たりの資料は持ち合わせていない。

【市民C(第1回市民Bと同一人物)】 Cre-2に最も優位性があると4月の市報に示されていて、その後この説明会を受け、C-3で進めたい意向と受け取っているが、次の市報への掲載はいつ頃予定しているのか。基本設計を行う前の市の考えに対するパブリックコメント等、市民への説明はどのように考えているのか。

→ 本格的な事業進捗のためには基本設計が重要と考えており、適時適切な時期に市報等にてお知らせしていきたい。平成30年度内に基本設計者の選考を行いたいと考えており、市報やホームページでお知らせをしていきたい。また、平成31年3月頃予定で基本設計者選定の公開プレゼンテーション、平成31年度中の市報特集号の作成、市民説明会等を行う予定

基本設計(案)のパブリックコメントは行う予定で、受託者からも市民参加手法について提案をもらう予定である。

【市民D(第1回市民Aと同一人物)】 前回の説明会の中継が市ホームページにあったが消えている。また、市長は「揺るぎない」、「不退転」等の言葉を使うがやめた方がよいと考える。

→ 市で中継は行っていない。第1回目の説明会でJ:COMの取材が入っており、その放送は行われていた事を言われているのではないかと。

【市民G】 資料で示されているパースは何時頃の様子か。(仮称)新福祉会館はなぜ日影に配置されているのか。B-2、C-2の方が日当たりがよいのでは。市民1人当たりの費用負担は、新庁舎74億円を人口12万人で割ると約6万円となる。身の丈に合った施設とする必要がある。市長室の前には緑の庭園があるようなことを聞いた。

→ パースは夏の昼頃を想定。清掃関連施設を暫定移設せずに複合で建設していくが、C-2、C-3と配置を決めて発注するのではない。JRの高架橋は建築物に当たり、日影等の制限が生じる。また、西側も道路があり、制限が生じることから、施設配置は南東側に寄っている傾向がある。その中でも新庁舎と(仮称)新福祉会館の連携を考えた時に、例えば6畳の部屋と10畳の部屋があった場合に、細長い面で6畳と10畳が横に並ぶよりは、6畳と10畳を縦につなげた方が使い勝手がよいと考える。このことからCre-2の施設配置が優れていると考えたが、清掃関連施設の暫定移設を行わないで、Cre-2と同様の施設配置を考えた際にC-3として成立することから、本日説明会を行っている。

市長室の前に庭園というのは誤認である。屋上は有効活用したいと考えているが、過剰に市長室を豪華にしたり、市長室用の庭園を設けたりするという考えは毛頭ない。

【市民B】 C-3や付帯決議は、市民の意見を聞かずに市議会に勝手に決められているように感じる。市民は、Cre-2に優位性があると思っていた。市議会は、市民を放置している。

新庁舎・(仮称) 新福社会館建設に係る市民説明会における
意見シート

平成30年11月10日 桜町上水会館

- | |
|--|
| <p>○ 建設地の近隣に住んでおりますので、工事期間中の安全面、通行等にはご配慮をお願いします。</p> |
| <p>○ ご丁寧な説明だったと思います。早期建設を望みます。</p> |
| <p>○ 市民への広報、工夫が欲しいです。市報の全面的改訂、もっと分かりやすいものを検討願いたい。</p> |
| <p>○ 忙しいとは思いますが、こまめに情報発信してほしい。</p> |
| <p>○ 議会との協調に配慮すべきか、あまり意見を聞くとコンセプトが分かりにくくなるのでは。建てたらこんなはずではなかったという思いにならないようにしたいものです。</p> |